

内容をご熟読ください。

Owner's Guide
取扱説明書

HORNET[®]

Auto Security Systems

テレマティクスカーセキュリティシステム

盗難発生警報装置



725V5

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

はじめに

この度はホーネット725V5をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
います。

ご使用の前に本書記載の取扱方法や注意事項をよくお読みいただき、
安全かつ正しい方法でご使用ください。なお、本書には保証書が添付されて
います。大切に保管してください。

本製品は、テレマティクスカーセキュリティシステムとしてご使用いただけ
ます。取り付けが伴いますので、電装、防犯知識のあるカー用品店や電装店、
カーセキュリティ専門店で施工してください。

車内センサーを用いた防犯機能は、車両盗難、車上ねらい等を抑制する
ものであり完全に防止するものではありません。

本製品はD.C.12V専用です。車両電源がD.C.24Vの場合は、オプションの
24V用DCDCコンバーターBS-24DCを別途お買い求めください。

- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不明な点や記載もれなどお気づきの点が
ありましたら、加藤電機株式会社までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替え致します。
- 本書に掲載されている内容は2023年11月1日現在のものです。
- 本書の著作権は加藤電機株式会社にあります。
- 本書に記載されている製品仕様、デザインは、性能向上のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

HORNET®、MAMORIA® GPSは加藤電機株式会社の登録商標です。
KATO-DENKI 等、本書記載の呼称は加藤電機株式会社の登録商標または商標です。

目次

お取り扱い上の注意	4
安全上の注意	5
使用上の注意	6
製品の特長	7
製品の説明	7
ホーネット725V5とは/確認音・警告音・警報/センサー/通信サービス	7
緊急通報機能・位置検確認機能/通信サービスご利用開始方法	7
緊急通報機能・通信サービスについて	8
緊急通報機能(緊急通報先メールアドレスの設定)	8
通信サービス(位置情報検索など)	8
同梱物をご確認ください。	9
ホーネット725V5の同梱物	9
基本的な操作方法	10
リモコンのボタンについて	10
ホーネット作動、ホーネット作動(消音機能)	11
ホーネット作動(マルチレベルセキュリティ)、ホーネット作動(コンビニモード)	12
ホーネット作動(自動作動)、パニックモード(強制警報)	13
ホーネット解除、ホーネット解除(警報あり)	14
ホーネット解除(消音機能)、ホーネット解除(強制解除)	15
ハイセキュリティ解除/メンテナンスモード	16
ロングタームイベントヒストリー、ダイアグノスティック機能	17
迷惑防止機能(NPC)、エンジンスターターとの併用、リモコンの電池交換方法	18
センサー・トリガーの特長	19
インスタントトリガー/2段階衝撃センサー/ドアトリガー/	19
超音波センサー/イグニッションONセンサー	19
その他の機能・オプション	20
確認音、警告音、警報、緊急通報・位置情報、AIカメラ	20
機能設定について	21
メニュー1、メニュー2	21
メニュー1の詳細	22
メニュー2の詳細	23
故障かな?と思ったら、製品仕様	24
故障かな?と思ったら/製品仕様	24
アフターサービスについて	25
アフターサービスについて/セキュリティラウンジあんしんサポートについて	25
保証書について/修理を依頼されるときは/お問い合わせ先	25
保証規定	27

お取り扱い上の注意

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、製品を扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることで部品の寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。



強制

強制・制約・指示等を表す記号

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

お取り扱い上の注意

安全上の注意



危険

- 本製品は、D.C.12V車両専用です。D.C.24Vの車両に取り付けする場合は、オプションの24V用DCDCコンバーターBS-24DC (別売)をお買い求めください。製品仕様以外の電源電圧で使用しないでください。火災、感電の原因になります。



警告

- エンジンルーム内に車外サイレンを取り付けしたままエンジンを洗浄しないでください。ショートにより、感電や機器が故障する恐れがあります。
- リモコンはお子様の手の届かないところに保管してください。システムをOFFしてしまったり、誤って飲み込むなど事故の恐れがあります。
- 本製品およびオプションの取り付けには正しい車両電装知識が必要です。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行ってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障などが発生しても当社では責任を一切負いかねます。
知識のない方が取り付けを行うと車両、製品の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ恐れがあります。
- 本製品を故意に分解・改造は絶対にしないでください。製品本来の機能を損なうのみならず重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行った製品の保証は一切しておりません。
- リモコンは電波法に基づく技術基準適合証明を受けております。分解および改造変更は絶対にしないでください。不法改造して使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 技術基準適合証明ラベルは絶対に剥がさないでください。電波法により罰せられることがあります。
- 本製品は大音量の車外サイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に鳴らさないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。



注意

- 万一、車両盗難や車上荒しが発生しても当社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 本製品を故意に分解、加工、改造変更は絶対にしないでください。
- 本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。
- 本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。
- 本製品は低消費電力設計ですが、車両の使用・整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご利用されない場合などは特に注意してください。
- 本製品の車内センサー検知による警告音、警報は、周囲に異常を知らせるため効果的な大音量で鳴るため騒音などにならないよう、センサー感度調整を周囲の環境を考慮した上で調整してください。
- 取り付けには、車両電装知識が必要です。最寄りの取付店にお問い合わせください。

お取り扱い上の注意

使用上の注意



禁止

- 本製品のメインユニットや付属のハーネスを傷つけたり、破損・加工・無理に引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因になります。
- 濡れた手で本製品、付属品を触らないでください。感電する恐れがありますので注意してください。



ヒント

- 2段階衝撃センサーは、メインユニットを取り付けする位置や車両の剛性などによって感度が大きく変わります。



必ずお読みください。

- 本製品の動作に関わらず、犯罪・事故が発生しても当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- 地震、雷、風水害および火災、その他の事故および損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用にて生じた付随的な損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社では製品を長く安心してご利用いただくため、セキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお勧めしています。ご登録いただけますと、製品保証の延長を受けることができます。
- 当社保証規定に基づき、製品の無償保証期間は1年（動作保証期間は3年または5年）です。安心サポートにご加入いただくことで、無償保証期間を2年または5年（有料会員）に延長できます。
- 本製品の仕様およびデザインは性能向上のため、予告なく変更される場合がありますのであらかじめご了承ください。

製品の特長

製品の説明

ホーネット725V5とは

本製品は、盗難発生警報装置（カーセキュリティシステム）です。車上荒らしや車両盗難などの車両犯罪をセンサーが検知し、警報と緊急通報を行うことができます。周囲に異常を知らせ、犯罪を抑制します。緊急通報には、GPSによる位置情報が含まれており、車両位置を確認することができます。また、別売の各種オプションを組み合わせて防犯性、利便性をさらに拡張性、オリジナリティ溢れるシステム構築が可能です。

クリックトーン・警告音・警報

クリックトーン

システムON/OFFの時に車外サイレンから鳴る「ピッ」、「ピッピッ」の確認音のことで。

警告音

2段階衝撃センサーが弱い衝撃を検知した時に車外サイレンから鳴る3秒間の「ピッピッピッピッ・・・」の音のことで。

警報

センサーが異常を検知した時に鳴る30秒間の車内ブザー（約100dB）と車外サイレン音（約128dB）のことで。

センサー・トリガー

インスタントトリガー

ボンネット、トランクのこじ開けを検知することができます。

2段階衝撃センサー

ガラス割りなどの車両への衝撃を2段階で検知することができるセンサーです。

ドアトリガー

ドアのこじ開けを検知することができます。

イグニッションONセンサー

不正なエンジン始動を検知することができるセンサーです。

通信サービス

緊急通報機能・通信サービス（通信ユニットMC-8）

車外サイレンに連動して緊急通報メール（最大5カ所）を送信できます。その他、スマートフォンやパソコンなどで運用管理画面から位置情報や温度管理などの様々な管理機能がご利用いただけます。

通信サービスのご利用には、通信ユニット（MC-8）のご利用開始申し込みが必要です。

【重要】●申し込み完了月を含め3カ月間通信サービスをご利用いただけます。

●通信開始の申し込み期限は、取り付け完了月を含め3カ月間です。期限を過ぎますと通信サービスのご利用ができなくなります。期限内に申し込みください。

●通信プランのお申し込み時には、必ず通信ユニットMC-8のシリアル番号をご記入お願いします。付属の保証書にシール貼付されています。

通信ユニット（MC-8）のご利用開始申し込み

- ① 2次元コードを読み取り申し込みサイトにアクセスします。
 - ② セキュリティラウンジオンラインショップの会員登録をします。
 - ③ 通信ユニット（MC-8）のご利用開始申し込みをします。
 - ④ 専用サイトURL、ユーザーID、パスワードが後日メールで届きます。
 - ⑤ 専用サイトにログインしてご利用開始できます。
- ※ 4カ月目以降のご利用は、セキュリティラウンジオンラインショップにて、ご利用期間中に通信1年プランもしくは3年プランをお買い求めください。

お申し込みサイト ➡ <https://shop-security-lounge.com/shopdetail/000000000308>



緊急連絡機能 (緊急通報先メールアドレスの設定)



MAMORIAi
ログイン

ユーザーID(半角)

パスワード(半角)

[パスワードを忘れた方はこちら](#)

ログイン

メンテナンスのお知らせ

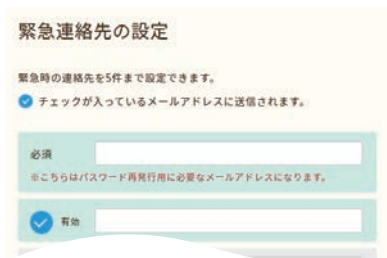
専用サイトにユーザーID、パスワードを入力してログインします。

ヒント

通信ユニット (MC-8) の専用サイトURL、ユーザーIDおよびパスワードをご利用開始時に届くメールをご確認ください。(詳しくはP7をご参照ください。)

緊急連絡先の設定

専用サイトのメニューサイトから緊急連絡先設定をタップしてメールアドレスを入力します。最大5個のメールアドレスを登録できます。



緊急連絡先の設定

緊急時の連絡先を5件まで設定できます。

- ✓ チェックが入っているメールアドレスに送信されます。

必須

※こちらはパスワード再発行に必要なメールアドレスになります。

✓ 有効

※イメージ画像

通信サービス (位置情報検索など)

位置検索機能

専用サイトのメニューから位置情報検索をタップして位置検索ボタンをタップします。

現在の位置情報、温度がマップ上に表示されます。

その他の詳細は、商品ページをご参照ください。



商品ページ



※イメージ画像

注意

- 通信サービスはKDDI(株)のネットワークを利用しています。電波の届かない場所や不安定な場所ではご利用いただけない場合があります。
- 通信エリア内であっても、車両が地下駐車場などの電波環境によっては通信機能がご利用いただけない場合があります。
- 当社またはKDDI(株)の電気通信設備の保守上または工事やむを得ない時、戦争天変・地変、その他自然災害など予期せぬ事象により電気通信設備を中止する時は、できる限りご利用者様に通知しますが、通知することなく利用が停止される場合があります。

同梱物をご確認ください。

ホーネット725V5の同梱物

設置前に必ず下記の同梱物をご確認ください。

ホーネット725V5



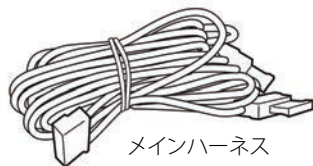
メインユニット



リモコン(黒)



リモコン(黒マット調)

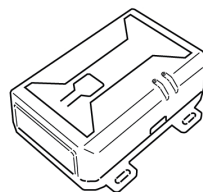


メインハーネス

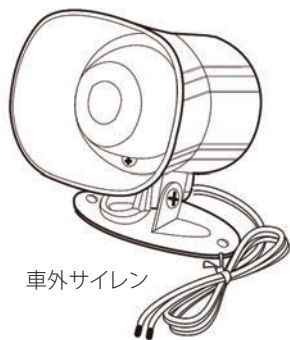


アンテナ

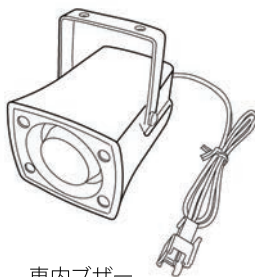
アンテナハーネス



通信ユニット MC-8
MAMORIA®GPS



車外サイレン



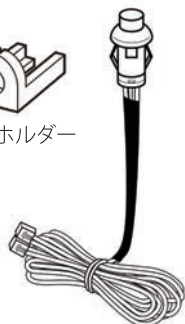
車内ブザー



ドアロックハーネス



LEDホルダー



動作確認LED付プログラムスイッチ(青)

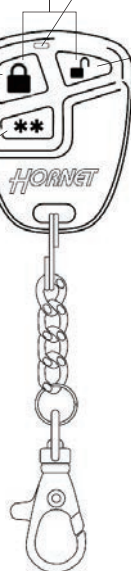
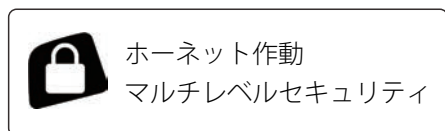
- その他
- ・防犯ステッカー×2
 - ・725V5取扱・取付説明書
 - ・保証書(説明書に付属)
 - ・MC-8説明書
 - ・取り付け部材

基本的な操作方法

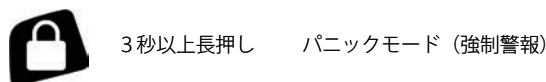
リモコンのボタンについて



赤色LED
(操作時点灯します。)



その他の操作




ヒント

- リモコンボタン部は固着しないタクトイルスイッチを採用し、押し続けられることを防止するために時間の制限を設けています。(動作保証温度：-30℃～+70℃)
- リモコンの電池は機能テストのために使用したものです。消耗品のため、ご購入後に使用できる期間に差があります。電池が消耗している場合には、新しい電池をお買い求めください。
(電池：CR2032×1個)

基本的な操作方法

ホーネット作動

操作方法

- 1 エンジン停止後、車両から降り、すべてのドアを閉めます。
- 2 リモコンの  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 3 「ピッ」と確認音が1回鳴りホーネットが作動したことを知らせます。
- 4 ホーネット作動中は、動作確認 LED 付プログラムスイッチ（青）が点滅します。





ヒント

センサーが検知している状態でホーネットを作動した場合は、確認音の後、もう一度「ピッ」と確認音（センサーレポート音）が鳴ります。設定で OFF にすることができます。詳しくは P.21 をご参照ください。

ホーネット作動（消音機能）

操作方法

- 1 エンジン停止後、車両から降り、すべてのドアを閉めます。
- 2 リモコンの  ボタンを1回押してから  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 3 確認音は鳴らずにホーネットが作動します。
- 4 ホーネット作動中は、動作確認 LED 付プログラムスイッチ（青）が点滅します。



ヒント

- 深夜など確認音を鳴らしたくない時に便利な機能です。
- センサーレポート音も消音されます。

基本的な操作方法

ホーネット作動(マルチレベルセキュリティ)

ホーネットを作動するとき、リモコンの操作によって特定のセンサーをキャンセルすることができる機能です。駐車環境に合わせたセンサーのご利用が可能です。マルチレベルセキュリティは、ホーネットを解除すると同時にリセットされます。

操作方法

操作方法	確認音	作動状態
 ボタンを1回(1秒ほど)押す	1回	通常のホーネット作動
2秒以内に再度  ボタンを押す	3回	2段階衝撃センサーをキャンセル
2秒以内に再度  ボタンを押す	4回	オプションセンサーをキャンセル
2秒以内に再度  ボタンを押す	5回	2段階衝撃センサーとオプションセンサーをキャンセル
2秒以内に再度  ボタンを押す	6回	2段階衝撃センサーとオプションセンサーとインスタントトリガーをキャンセル





ヒント

- 連続したボタン操作が必要です。2秒以上ボタン操作が無い場合は、通常のホーネット作動に戻ります。
- 機能設定(P.21参照)でクリックトーンを「OFF」に設定しても、マルチレベルセキュリティの確認音は消音されず、作動状態を確認できます。

ホーネット作動(コンビニモード)

幹線道路周辺やコンビニなど振動の多い場所に駐車する場合、リモコンのワンタッチ操作で2段階衝撃センサーを一時的にスリープ状態にできます。

操作方法

- 1 リモコンの  ボタンを1回(1秒ほど)押してホーネットを作動します。
- 2 5秒以内に  ボタンを1回(1秒ほど)押します。
- 3 確認音が「ピッピッピッ」と鳴り、2段階衝撃センサーがキャンセルされます。
- 4 コンビニモードは、ホーネットを解除すると終了します。



ヒント

- 機能設定(P.21参照)でクリックトーンを「OFF」に設定した場合、コンビニモードの確認音は消音されます。モードに入ったことを確認するにはライトフラッシュ機能をご利用ください。ライトフラッシュ機能のご利用にはオプションが必要です。詳しくは取付店にお問い合わせください。

基本的な操作方法

ホーネット作動(自動作動)

操作方法

- 1 エンジン停止後、車両から降り、すべてのドアを閉めます。
- 2 動作確認 LED 付プログラムスイッチ (青) が早点滅します。
- 3 5 分後に「ピッ」と確認音が鳴りホーネットが作動したことを知らせます。
- 4 ホーネット作動中は、動作確認 LED 付プログラムスイッチ (青) が通常点滅します。

⚠ 注意

- ドアロック連動している場合は、ホーネット作動時にインロックする恐れがあります。




📖 ヒント

- 自動作動のご利用には、設定が必要です。機能設定メニュー 1 の項目 4 のホーネット作動条件を自動作動 (IGOFF+ドア) に設定します。
- ドアを閉めてから自動作動する時間を変更できます。1 分、5 分、1 0 分、1 5 分から選択できます。機能設定メニュー 1 の項目 11 で設定できます。初期設定は 5 分です。
- 設定の詳細は、製品購入店舗または取付店にお問い合わせください。

パニックモード(強制警報)




リモコン操作で強制的に警報を鳴らすことができる機能です。不審者が近くにいる場合や緊急時に異常を周囲に知らせる時に使用することができます。

操作方法

- 1 リモコンの  ボタンを 3 秒以上押し続けます。
- 2 「ピッ」と 1 回確認音が鳴り、ホーネットが作動した後に警報が 3 0 秒間鳴ります。



📖 ヒント


- 警報中にもう一度  ボタンを 1 回 (1 秒ほど) 押すと警報は止まります。
- パニックモードによる警報時は、車外サイレンが鳴ります。車内ブザーは鳴りません。
- 車内ブザーは、 ボタンと  ボタンを同時に押すことで鳴動/停止の操作を行うことができます。

基本的な操作方法

ホーネット解除

作動中のホーネットをリモコン操作で解除することができます。

操作方法


- 1 リモコンの  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 2 「ピッピッ」と確認音が2回鳴りホーネットが解除したことを知らせます。
- 3 ホーネット解除中は、動作確認 LED 付プログラムスイッチ（青）は消灯します。

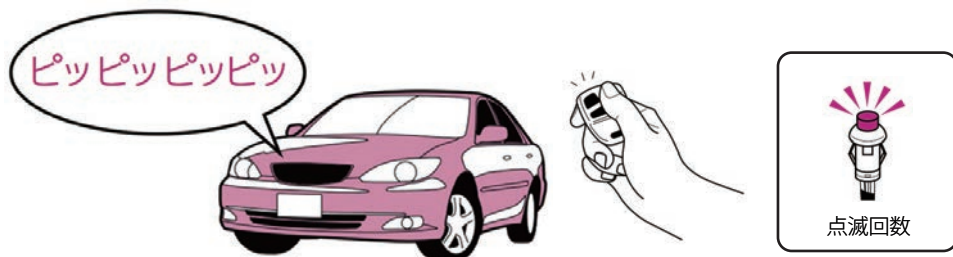


ホーネット解除（警報あり）

ホーネットを解除した時に鳴る確認音の変化でホーネット作動中の警報の有無を確認できます。

操作方法

- 1 リモコンの  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 2 「ピッピッピッピッ」と確認音が4回鳴りホーネットが解除したことを知らせます。
- 3 動作確認 LED 付プログラムスイッチ（青）が最後に検知したセンサーのゾーン ID を点滅回数で知らせます。



ヒント

- 確認音が2回→4回に変化した時は、ホーネット作動中に警報が鳴ったことを示しています。
- 確認音が2回→5回に変化した時は、ホーネット作動中に警報が3回以上鳴り、迷惑防止機能が作動していることを示しています。
- 動作確認 LED 付プログラムスイッチ（青）の点滅回数変化して検知したセンサー、トリガーのゾーン ID を示します。
- センサーのゾーン ID は、P.17 をご参照ください。

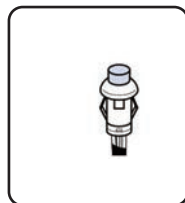
基本的な操作方法

ホーネット解除(消音機能)

作動中のホーネットをリモコン操作で消音で解除することができます。警報ありの確認音も消音されます。センサーの特定は、動作確認 LED 付プログラムスイッチ（青）の点滅回数で確認できます。

操作方法

- 1 リモコンの ****** ボタンを 1 回押してから **▶** ボタンを 1 回（1 秒ほど）押します。
- 2 確認音が鳴らずにホーネットが解除します。
- 3 ホーネット解除中は、動作確認 LED 付プログラムスイッチ（青）は消灯します。



ヒント

- 深夜など確認音を鳴らしたくない時に便利な機能です。
- 警報ありの場合は、動作確認 LED 付プログラムスイッチ（青）が最後に検知したセンサーのゾーン ID を点滅回数で確認できます。
- センサーのゾーン ID は、P.17 をご参照ください。

ホーネット解除(強制解除)

リモコン紛失や電池残量不足など何らかの理由でホーネットを解除できなくなった時に強制的に解除することができます。

操作方法

- 1 イグニッションキーを ON にします。
- 2 5 秒以内に動作確認 LED 付プログラムスイッチ（青）を 1 回（初期設定）押します。
- 3 確認音が鳴りホーネットが解除します。



ヒント



- イグニッション ON の方法は、車種により異なります。詳しくは車両付属の取扱説明書をご参照ください。
- プログラムスイッチを押す回数を 1～5 回に変更（P.21 機能設定）できます。
- 強制解除の操作を間違えた場合は、最初からやり直してください。
- 強制解除でホーネット解除した時は、ダイアグノスティック機能（P.14）はリセットします。

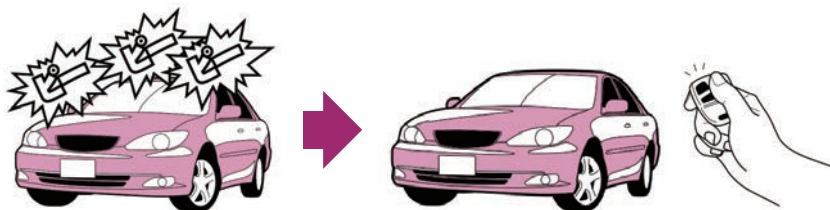
基本的な操作方法

ハイセキュリティ解除



ホーネットを解除せずに警報のみ止め、警戒を続けることができる機能です。

操作方法

- 1 警報中にリモコンの  ボタンを1回（1秒ほど）押します。
- 2 ホーネットは作動中のまま警報が止まります。（車外サイレンのみ）
- 3 もう一度  ボタンを押すとホーネットが解除します。





ヒント

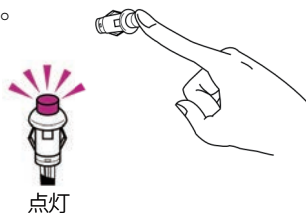
- 車内ブザーは、30秒後に止まりますが、 と  ボタンの同時押し操作で止めることができます。
- 動作確認LED付プログラムスイッチ（青）は、点滅変化し、検知したセンサーのゾーンIDを示しますが、ハイセキュリティ解除で警報を止めた後は、通常の点滅に戻ります。

メンテナンスモード

一時的にカーセキュリティの機能を無くすことができます。ホーネット作動（自動作動）を設定している場合などに便利です。操作はセキュリティ解除中に行ってください。

操作方法

- 1 エンジンを始動してから5秒以内に動作確認LED付プログラムスイッチ（青）を5秒以上押し続けます。
- 2 動作確認LED付プログラムスイッチ（青）が早点滅します。
- 3 1分以内に  ボタンと  ボタンを同時に押します。
- 4 動作確認LED付プログラムスイッチ（青）が点灯し、メンテナンスモードに入ったことを示します。
- 5 エンジンを停止します。



※動作確認LED付プログラムスイッチ（青）は、3時間後に自動的に消灯します。

ヒント

- メンテナンスモード中は、ホーネットの自動作動は動作しません。
- メンテナンスモード中は、リモコン操作を受け付けません。ホーネットは作動しません。
- エンジンを始動（イグニッション ON）すると動作確認LED付プログラムスイッチ（青）は消灯し、メンテナンスモードは終了します。

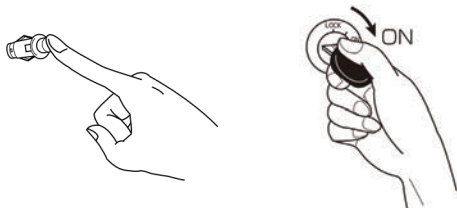
基本的な操作方法

ロングタームイベントヒストリー

いつでも過去2回の警報履歴(ゾーンID)を動作確認LED付プログラムスイッチ(青)の点滅回数によって、確認することができます。エンジンが停止している(イグニッションキーがOFF)状態から操作してください。

操作方法

- 1 プログラムスイッチを押し続けます。
- 2 イグニッションキーをONにします。
- 3 押し続けていたプログラムスイッチを離してから、もう1回(1秒ほど)押します。
- 4 動作確認LED付プログラムスイッチ(青)が点滅し、過去2回の警報履歴(ゾーンID)を示します。



ヒント

- 60秒経過するか、イグニッションキーをOFFにすると動作確認LED付プログラムスイッチ(青)は消灯します。
- イグニッションONの方法は、車種により異なります。詳しくは車両付属の取扱説明書をご参照ください。

ダイアグノスティック機能

ホーネットを解除した時の確認音と動作確認LED付プログラムスイッチ(青)(以下 動作確認LED)の点滅回数で警報履歴を確認することができます。

ホーネット状況	ゾーンID	センサー・トリガー	確認音・動作確認LED(青)
ホーネット解除時	1	インスタントトリガー	確認音 4回「ピッピッピッピッ」 動作確認LED 1回点滅繰り返し
	2	2段階衝撃センサー	確認音 4回「ピッピッピッピッ」 動作確認LED 2回点滅繰り返し
	3	ドアトリガー	確認音 4回「ピッピッピッピッ」 動作確認LED 3回点滅繰り返し
	4	オプションセンサー	確認音 4回「ピッピッピッピッ」 動作確認LED 4回点滅繰り返し
	5	イグニッションONセンサー	確認音 4回「ピッピッピッピッ」 動作確認LED 5回点滅繰り返し

ヒント

イグニッションON(エンジン始動)およびホーネットの作動/解除操作を行うと、ダイアグノスティック機能はリセットされます。

基本的な操作方法

迷惑防止機能 (NPC)

近所迷惑などを防止するため、同じセンサーが連続して反応し、警報を鳴らすことを防止できる機能です。

- 同じセンサーが60分以内に3回警報を鳴らした場合、60分間そのセンサーをキャンセルします。
- キャンセル中に同じセンサーが検知した場合、その時点からさらに60分間キャンセルします。
- センサーに関わらず、8回警報が鳴った場合は9回目の警報は鳴らなくなります。

📖 ヒント

- ホーネットを解除すると迷惑防止機能 (NPC) はリセットされます。
- NPC機能は、機能設定で「OFF」にすることができます。(P29)
- ドアトリガーは迷惑防止機能 (NPC) による警報の回数制限はありません。

エンジンスターターとの併用

設定変更

純正もしくは市販エンジンスターターおよびターボタイマーと併用することができます。

操作方法

- 1 ホーネット作動中に純正もしくは市販エンジンスターターからエンジン始動します。
- 2 センサー (ドアトリガーを除く) を自動的にキャンセルします。
- 3 アイドリングが終了しエンジン停止した場合は、5秒後に自動的にセンサーは復帰します。

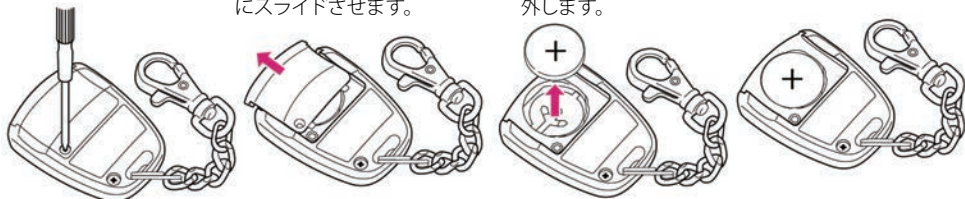
📖 ヒント

- 機能設定 (P. 21) でイグニッション入力を「シャント」に変更します。
- イグニッションONセンサー (ゾーン5) との併用は、できません。

リモコンの電池交換方法

リモコンの電池が消耗した場合は、電池交換してください。対応する電池は「CR2032」型のボタン電池です。

- ①ビスを外します。
- ②リモコンのフタを ↑ の方向にスライドさせます。
- ③古い電池をリモコンから外します。
- ④新しい電池を入れます。



📖 ヒント

⑤フタを元に戻しビスを止めます。



- ⊕の精密ドライバー等を使用してください。
- 電池の極性に注意してください。十が上です。

⚠️ 注意

- 交換の際は、リモコンケースを傷つけないよう注意してお取り扱いください。
- 交換前に、あらかじめ金属部分などに触れて静電気を除去した乾いた手でお取り扱いください。
- ケース内部へは絶対に水や油、ほこり等が浸入しないように十分注意してください。
- 不要になった電池は、必ず自治体指定の方法で廃棄してください。

センサー・トリガーの特長

インスタントトリガー (ゾーン1)

ボンネットやトランクのこじ開けを検知することができます。検知には取り付けが必要です。詳しくは取付店にお問い合わせください。

2段階衝撃センサー (ゾーン2)

車体への衝撃を検知することができます。ガラスを叩くなどの衝撃を2段階で検知できます。弱い衝撃には警告音、強い衝撃には警報します。



ヒント

- 2段階衝撃センサーの感度調整ができます。警告、警報それぞれ0～15段階で調整可能です。(取付説明書参照)ご利用環境、駐車環境に応じて適切な感度に調整してください。感度調整は、取付店にご依頼ください。
- 駐車環境やご利用状況に合わせて、リモコンによるワンタッチ操作で2段階衝撃センサーをキャンセルすることができます。(P. 12参照)

ドアトリガー (ゾーン3)

運転席、助手席、左右リア、リアハッチなどのドアをこじ開けを電氣的に検知することができます。詳しくは取付店にお問い合わせください。

オプションセンサー (ゾーン4)

オプション

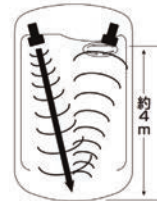
例:超音波センサー509U

ドアのこじ開けや車内への侵入、車内の人の動きを検知することができます。

ヒント

超音波センサーは、人体に影響の無い周波音を利用したセンサーです。安心してご利用いただけます。

およそ4mの範囲の人の動きを検知できます。



※イメージ画像

イグニッションONセンサー (ゾーン5)

ホーネット作動中に不正なエンジン始動を検知して警報します。

ヒント

純正・市販のエンジンスターターと併用する場合は使用できません。機能設定 (P. 21) で設定を変更してください。

その他の機能・オプション

クリックトーン(確認音)

ホーネットの作動/解除の時に鳴る確認音です。音の回数でシステムの状態を知ることができます。

警告音

警告音は、2段階衝撃センサーが弱い振動を検知した時に鳴る“ピッピッピッピッ...”(約3秒間)の音のことです。

警報

警報は、ホーネット作動中にセンサーが検知した時に鳴る大音量の車外サイレンおよび車内ブザーのことです。警報は、約30秒間鳴り止まります。

リモコンによる操作(パニックモード)では、意図的に車外サイレンを鳴らすことができます。

車外サイレン:最大音量約128dB

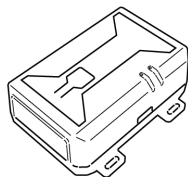
車内ブザー:最大音量約100dB(初期設定:リズム音は約90dB)



緊急通報・位置情報(通信ユニットMC-8)

通信ユニットMC-8によりあらかじめ登録したメールアドレス(最大5ヶ所)に警報時にメール送信することができます。

専用サイトから車両の位置情報、車内温度等をマップ上で確認できます。



警告

動作保証温度は-30℃~+70℃です。直射日光が当たらない場所に設置し、-30℃以下の環境では利用しないでください。

AIカメラ

オプション

警報に連動して車内を録画することができます。APモードにより10m以内であれば、内蔵のmicroSDカードに録画された映像をスマートフォンから確認することができます。


Wi-Fiに接続することで遠隔地からリアルタイム映像をパソコンやスマートフォンから確認することができます。拡大や縮小はもちろん、カメラポジションをコントロールすることができます。

また、音声機能を使うことで付属のスピーカーから音声を発することができます。



機能設定について

メニュー 1

項目番号	設定項目	確認音	 ボタン 確認音"ピッ"	 ボタン 確認音"ピッピッ"→"ピッ×3回" →"ピッ×4回"→"ピッ×5回"
1	クリックトーン	ピッ×1回	<u>ON</u>	OFF
2	サイレン鳴動時間	ピッ×2回	<u>30秒</u>	10秒/60秒/180秒/ラッチ
3	イグニッション入力	ピッ×3回	<u>センサー</u>	シャント+システムOFF/シャント
4	ホーネット自動作動条件	ピッ×4回	ON(エンジン停止)	ON(エンジン停止+ドア開閉)/OFF
5	半ドア警告音	ピッ×5回	<u>ON</u>	OFF
6	センサーレポート音	ピッ×6回	<u>ON</u>	OFF
7	迷惑防止機能(NPC)	ピッ×7回	<u>ON</u>	OFF
8	未確認検知センサー	ピッ×8回	<u>OFF</u>	ON
9	インスタントトリガー	ピッ×9回	<u>N.C.</u>	N.O.
10	チャンネル出力中センサー	ピッ×10回	<u>センサーON</u>	センサーOFF
11	ホーネット自動作動開始時間	ピッ×11回	<u>5分</u>	1分/10分/15分
12	強制解除スイッチ 入力回数	ピッ×12回	<u>1回</u>	2回/3回/4回/5回
13	サイレン出力	ピッ×13回	<u>コンスタント</u>	パルス

メニュー 2

項目番号	設定項目	確認音	 ボタン 確認音"ピッ"	 ボタン 確認音"ピッピッ"→"ピッ×3回"→"ピッ×4回" →"ピッ×5回"→"ピッ×6回"→"ピッ×7回" →"ピッ×8回"
1	チャンネル2出力タイプ	ピッ×1回	ボタン押し中 (最大25秒)	ラッチ/ラッチ(パルス0.5秒間隔)/リズムA /リズムB
2	チャンネル2リンク	ピッ×2回	<u>なし</u>	イグニッションOFF/作動/解除/警報/警告
3	チャンネル2リセット	ピッ×3回	<u>なし</u>	30秒/1分/5分/15分/30分/60分/青線入力
4	チャンネル2出力開始 遅延時間	ピッ×4回	<u>なし</u>	5秒/15秒/30秒/3分/5分/10分/15分
5	チャンネル3(車内ブザー) 出力タイプ	ピッ×5回	ボタン押し中 (最大25秒)	ラッチ/ラッチ(パルス0.5秒間隔) /リズムA/リズムB/リズムC/リズムD
6	チャンネル3(車内ブザー) リンク	ピッ×6回	<u>なし</u>	イグニッションOFF/作動/解除/警報/警告
7	チャンネル3(車内ブザー) リセット	ピッ×7回	<u>なし</u>	<u>30秒</u> /1分/5分/15分/30分/60分/青線入力
8	チャンネル3(車内ブザー) 出力開始遅延時間	ピッ×8回	<u>なし</u>	5秒/15秒/30秒/3分/5分/10分/15分
9	チャンネル2ボタン設定	ピッ×9回	<u>出力と停止</u>	出力のみ/停止のみ
10	チャンネル3ボタン設定	ピッ×10回	<u>出力と停止</u>	出力のみ/停止のみ

※ 下線がある項目が初期設定です。

メニュー 1 の詳細

1: クリックトーン

ホーネットの作動/解除の時に鳴る確認音の設定ができます。OFF設定で鳴らなくなります。

2: サイレン鳴動時間

車内センサーが検知した時に鳴る警報時間を変更できます。

3: イグニッション入力

センサー: ホーネット作動中にエンジン始動 (IGON) を検知してサイレンを鳴らします。
シャント+システムOFF: 車内置き去り防止システムとして使用する場合に選択します。
シャント: 純正、市販エンジンスターターと併用する場合に選択します。

4: ホーネット自動作動条件

ON (エンジン停止): エンジン停止してから項目番号 11 で設定した時間経過後にホーネットが作動します。
ON (エンジン停止+ドア開閉): エンジン停止して運転席ドアを開けてから項目番号 11 で設定した時間経過後にホーネットが作動します。

5: 半ドア警告音

運転席ドアが開いている状態でホーネットが作動した時に、「ピッ」確認音を鳴らすかどうかの設定ができます。
ON=確認音あり、OFF=確認音なし

6: センサーレポート音

センサーが検知している状態でホーネットが作動した時に、「ピッ」確認音を鳴らすかどうか設定ができます。
ON=確認音あり、OFF=確認音なし

7: 迷惑防止機能 (NPC)

車内センサーが検知できる数を制限するか設定できます。
ON: 2段階衝撃センサー、センサーポート (超音波センサー等) は、最大3回まで検知することができます。4回目は、キャンセルします。1時間経過するとリセットされ最大3回まで検知することができます。詳しくは P 15 をご参照ください。
OFF: 車内センサーの検知制限はありません。

8: 未確認検知センサー

車内置き去り防止安全装置として使用する場合の未確認検知センサーの設定変更ができます。
ON: エンジン停止後5分以内に車内ブザーが止まっていない場合、未確認検知センサーが未確認を検知してサイレンを30秒間鳴らします。ブザー停止ボタンを押すまで5分ごとにサイレンを30秒間鳴らし続けます。
OFF: エンジン停止後5分以内に車内ブザーが止まっていなくてもサイレンは鳴りません。



注意

降車時確認式の車内置き去り防止安全装置としてご利用される場合は、取付店にご相談ください。

9: インスタントトリガー

インスタントトリガーの検知方法の設定を変更できます。
N.C.: (-) 信号が入力されたことを検知できます。
N.O.: (-) 信号の入力が無くなったことを検知できます。

10: チャンネル出力中センサー

外部機器コントロールのチャンネル 2、チャンネル 3 出力中のセンサー (2段階衝撃センサー、超音波センサー、インスタントトリガー) 検知のON/OFFを設定できます。
センサーON: チャンネル出力中もセンサーが検知した場合は、警告、警報します。
センサーOFF: チャンネル出力中は、センサーが検知しても警告、警報しません。

11: ホーネット自動作動開始時間

エンジン停止後、ドアを開けてから自動的にホーネット作動するタイミングの設定変更ができます。
1分: 項目 4 で設定した条件を満たした後、1分経過するとホーネットが作動します。
5分: 項目 4 で設定した条件を満たした後、5分経過するとホーネットが作動します。
10分: 項目 4 で設定した条件を満たした後、10分経過するとホーネットが作動します。
15分: 項目 4 で設定した条件を満たした後、15分経過するとホーネットが作動します。

12: 強制解除スイッチ入力回数

ホーネットを強制的に解除する強制解除時に押す、プログラムスイッチの回数を変更できます。



注意

項目 3 のイグニッション入力がセンサーもしくはシャントを設定している場合にご利用いただけます。

機能設定について

13:サイレン出力

車外サイレンの出力信号を変更できます。

コンスタント:付属の車外サイレンを鳴らす場合に設定します。(初期設定)

パルス:車両ホーンを鳴らす場合に設定します。ご利用にはオプションの525T(別売)が必要です。

メニュー2の詳細

1:チャンネル2出力タイプ

チャンネル2の信号出力方法を(ラッチ/ラッチ(パルス0.5秒間隔)/リズムA/リズムB)の4パターンに変更できます。

2:チャンネル2リンク

チャンネル2の作動条件を(イグニッションOFF/作動/解除/警報/警告)から設定できます。

3:チャンネル2リセット

チャンネル2のリセット方法を(30秒/1分/5分/15分/30分/60分/青線入力)に設定できます。

⚠注意

チャンネル2出力タイプが「ボタン押し中」の場合は、設定できません。

4:チャンネル2出力開始遅延時間

チャンネル2の信号出力を開始するタイミングを遅延できます。(5秒/15秒/30秒/3分/5分/10分/15分)から設定できます。

5:チャンネル3(車内ブザー)出力タイプ

チャンネル3(車内ブザー)の鳴動方法を変更できます。

(ラッチ/ラッチ(パルス0.5秒間隔)/リズムA/リズムB/リズムC/リズムD)の6パターンから選択できます。

6:チャンネル3(車内ブザー)リンク

チャンネル3の作動条件を(イグニッションOFF/作動/解除/警報/警告)から設定できます。

7:チャンネル3(車内ブザー)リセット

チャンネル3のリセット方法を(30秒/1分/5分/15分/30分/60分/青線入力)に設定できます。

⚠注意

チャンネル3出力タイプが「ボタン押し中」の場合は、設定できません。

8:チャンネル3(車内ブザー)出力開始遅延時間

チャンネル3の信号出力を開始するタイミングを遅延できます。(5秒/15秒/30秒/3分/5分/10分/15分)から設定できます。

9:チャンネル2ボタン設定

チャンネル2の操作設定を(出力と停止/出力のみ/停止のみ)から選択できます。

10:チャンネル3ボタン設定

チャンネル3の操作設定を(出力と停止/出力のみ/停止のみ)から選択できます。

⚠注意

「出力のみ」を設定した場合は、鳴動中の車内ブザーをリモコンから止めることはできませんので注意してください。

⚠注意

機能設定は、防犯知識、電装知識のある販売店・取付店にご依頼ください。設定を誤ると本製品が正しく動作しません。また警報が止まらなくなるなどの症状が発生する可能性があります。

故障かな?と思ったら

症状と原因	対策
リモコンの操作ができない <ul style="list-style-type: none">・リモコンの電池残量が少ない・アンテナが金属部に触れている・アンテナのコネクタが抜けている・エンジンが作動中である・リモコンが故障している・電波塔の近くに駐車している	リモコンの電池を交換してください。リモコン付属の電池は試験用の電池です。電池残量が少なくなっている可能性があります。 アンテナを金属から離して設置してください。 なるべく高い位置に設置してください。 アンテナコネクタをしっかり「カチッ」とするまで奥まで差し込んでください。(取付説明書P.11参照) エンジンを停止してください。エンジン作動中やイグニッションON中はホーネットを作動できません。(初期設定) ホーネット解除ができない場合は、強制解除(P.15)でホーネット解除してください。リモコンが水の侵入や破損などで故障している場合は、取付店にご相談ください。リモコンを追加・増設することができます。 ラジオ局など無線局が近くにある場合は、リモコンの電波を受信しづらくなる場合があります。車両の近くに寄って操作してください。
2段階衝撃センサーが反応しない <ul style="list-style-type: none">・5秒待っていない・感度設定が低い	ホーネットを作動してから5秒以上待つてください。作動後5秒間は待機時間となります。5秒以上経過してからセンサーの反応を確認してください。 ・2段階衝撃センサーの感度調整を行ってください。
勝手に警報が鳴る <ul style="list-style-type: none">・メインユニット固定が不十分・電源線の接触不良・各センサーの感度が高すぎる	警報が鳴っている原因を警報履歴(ロングタームイベントヒストリー-P.17参照)で確認後、検知しているセンサー、トリガーの取付状態、感度設定変更などを取付店に依頼してください。
警報時に緊急通報のメールが届かない <ul style="list-style-type: none">・通信ご利用開始の申し込みをしていない・連絡先の登録をしていない	通信サービス開始の申し込み(P.7参照)をしてください。 専用サイトの緊急連絡先設定にメールアドレス(P.8参照)を登録してください。

製品仕様

●電源電圧	D.C.12V
●平均消費電流(待機時)	約9mA(動作確認LED付プログラムスイッチ(青)、通信ユニット含む)
●平均消費電流(警報時)	約1A
●サイレン音圧	最大128dB
●使用周囲温度	約-40℃~+85℃(通信ユニット:約-30℃~+70℃)
●メインユニット外形寸法	約78×76×26mm
●質量	約68g

※メインユニット部：道路運送車両の保安基準 第43条の5に準拠

リモコン 493V II:  R 008YUA080117

通信ユニット MC-8:  T 017-0312001
R 001-A12347

アフターサービスについて

アフターサービスについて

- 万一、故障が生じたときは、当社保証規定に基づき修理いたします。
- 本製品の保証期間はご購入の日から1年間です。
- 保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理いたします。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

セキュリティラウンジあんしんサポートについて

- 製品を長く安心してご使用いただけるサービスとしてセキュリティラウンジあんしんサポートへの登録をお勧めします。
- ご登録いただけますと製品保証の延長など充実したサポートをお約束します。ぜひセキュリティラウンジあんしんサポートの登録をお願いします。詳しくは下記URLをご参照ください。

<https://shop-security-lounge.com/shopdetail/000000000080/>



保証書について

- 製品保証書は本書に添付しております。ご購入の際には大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
- シリアル番号は安全管理上重要なものです。ご購入の際には本体に貼付されているシールに記載のシリアル番号をお確かめください。

修理を依頼されるときは

- 故障とお考えの前に、販売店・取付店または当社へご相談ください。
- 修理をご依頼の際は下記の事項をあらかじめ確認し、保証書と署名捺印済みの安全管理マニュアルの写しを必ずご提示ください。

- 1 製品名およびシリアル番号
(例: HORNET 725V5 0012345678)
- 2 故障の内容
(どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど)
- 3 お買い上げ年月日
- 4 お買い上げ販売店、取付店の記載および署名捺印
- 5 お客様のお名前、住所、連絡先電話番号の記載および署名捺印
- 6 装着した車両の車種、年式、型式、車体番号

- 修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
- 当社保証規定に基づき、製品の無償保証期間は1年(耐用年数は3年または5年)です。安心サポートにご加入いただくことで、無償保証期間を2年または5年(有料会員)に延長できます。製品のメンテナンスにより機能の維持ができる場合には無償または有償による修理を行います。有償修理時に発生する代替品の貸与、部品交換費、出張費などは都度お見積りいたしますので、販売店・取付店までお問い合わせください。

お問い合わせ先

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10

<https://kato-denki.com/support/contact/index.html>



《保証規定》

- 1: 本製品は高度の品質管理を致しておりますが、保証期間中に取扱説明書、取付説明書などの注意に従った使用状態で万一故障した場合には保証規定に従い、お買い上げの販売店または当社修理窓口が有償または無償にて保証致します。
- 2: 保証期間内に故障して保証をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店または修理窓口にご来店いただき直接製品をお送りいただく際に発生する送料はお客様のご負担となります。その際には保証書を必ずご提示ください。保証書のない場合には保証対象外（有償）となります。
- 3: 製品の回収、取り付けの際に伴う諸費用、代車費用、内装新品交換等はおお客様負担となります。
- 4: ご転居、ご贈答品などで保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には当社窓口までご相談いただくか、お近くのセキュリティラウンジまたは販売店へご相談ください。
- 5: 保証期間内でも次の場合には保証対象外(有償)となります。
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障および損傷
 - 不当な修理、改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下、水分、油分の浸入、冠水、熱、異常電圧による故障および損傷
 - 火災、地震、風水害、落雷、ガス害その他天変地変、公害、塩害などによる故障および損傷
 - 自動車事故により発生した故障および損傷
 - 消耗品(電池、各部ゴム、テープ、ヒューズなど)の交換
 - リモコン増設の場合
 - 本保証書のご提示がない場合
 - 本保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名等の所定の記入事項が未記入、不明確あるいは文字を書き換えられた場合
 - 故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
- 6: 保証規定は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)

この保証書は、本書に明示した、期間、条件のもとにおいて無償保証修理をお約束するものです。従ってこの保証規定によりお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間を過ぎている場合は、修理できる製品については、ご希望により有償で修理させていただきます。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第、修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。
ご不明な点は、弊社カスタマーセンターまたは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

製造発売元

KATO-DENKI

加藤電機株式会社 〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10